

第3次大分市文化・芸術振興計画（案）

豊かになごう　こころ・ひと・まち
～文化・芸術がいきるまち OITA～

2024（令和6）年12月
大分市企画部文化振興課

目次

第1章 文化・芸術とは	・・・ 3
1 文化・芸術が大分市にもたらすもの	・・・ 3
2 大分市が誇る文化・芸術	・・・ 4
3 本計画における文化・芸術の主な対象範囲	・・・ 5
第2章 計画策定の経緯・経過	・・・ 6
1 計画の趣旨	・・・ 6
2 計画の位置づけ	・・・ 7
3 計画の期間	・・・ 7
第3章 文化・芸術における近年の動向	・・・ 8
1 国の動向・社会情勢の変化	・・・ 8
2 前回（第2次）計画の評価指標の振り返り	・・・ 9
3 大分市文化・芸術に関するアンケート調査	・・・ 9
4 調査結果に基づく現状分析	・・・ 11
第4章 計画の体系について	・・・ 12
1 基本理念	・・・ 12
2 共通する3つの視点および基本目標	・・・ 13
3 本計画の体系図(基本目標に基づく基本施策・取組項目)	・・・ 14
共通する3つの視点	・・・ 15
はぐくむ	・・・ 17
ささえる	・・・ 19
つなぐ	・・・ 21
いかす	・・・ 23
第5章 計画の推進について	・・・ 25
1 推進体制	・・・ 25
2 重点プロジェクトについて	・・・ 25
3 重点プロジェクト・評価指標一覧	・・・ 27

市民とともに文化・芸術施策の
推進を図るための
5つのステップ



ステップ1

第1章

文化・芸術とは
(文化・芸術ってどんなもの?)



ステップ2

第2章

計画策定の経緯・経過
(どうして計画をつくるの?)



ステップ3

第3章

文化・芸術における近年の動向
(どんなことが求められているの?)



ステップ4

第4章

計画の体系について
(どんな大分市を目指すの?)



ステップ5

第5章

計画の推進について
(どうやって計画に取り組むの?)

第1章 文化・芸術とは

1. 文化・芸術が大分市にもたらすもの

文化・芸術は、心豊かな市民生活を実現するとともに、郷土を愛する心や地域の一体感を醸成する大きな役割を持っており、文化・芸術の有する創造性を最大限に生かすことで以下の効果を大分市にもたらします。

効果1

※事業の写真が入ります

豊かな創造性や人間性の育成

文化・芸術は創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、豊かな人間性を涵養し、文化的な伝統を尊重する心を育てます。

効果2

※事業の写真が入ります

多様性に富んだ心豊かな社会の形成

文化・芸術は人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性に富んだ心豊かな社会の形成を促進します。

効果3

※事業の写真が入ります

まちの活性化・魅力向上

文化・芸術は新たな需要や高い付加価値を生み出すものであり、文化・芸術により生み出されるさまざまな価値を、観光やまちづくり等の幅広い関連分野へ活用することで、まちの活性化や魅力向上をもたらします。

2. 大分市が誇る文化・芸術

大分市は、豊かな自然に恵まれ、古くから東九州の要衝の地として栄えてきました。中世・戦国時代には、北部九州6カ国を治めた戦国大名大友宗麟公により、全国に先駆けて「南蛮文化」が花開き、これまでさまざまな文化・芸術が育まれてきました。



3. 本計画における文化・芸術の主な対象範囲

文化芸術基本法に示されるものを基本に、本市の特性と可能性をふまえたものとします。
また、文化・芸術は新たな創作活動により常に変化していくため、これらの枠にとらわれることなく、新たな分野についても注視していきます。

項 目	内 容（例）
芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他芸能等
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション及びコンピューターその他の電子機器等を利用した芸術等
伝統芸能	雅楽、能楽、文学、歌舞伎、組踊、民謡、日舞その他の日本古来の伝統的な芸能等
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能等
郷土文化	神楽、山車、地域のまつり等
生活文化・国民娯楽	茶道、華道、書道、食文化その他生活に係る文化、囲碁、将棋その他の国民的娯楽等
文化財等	有形及び無形の文化財並びにその保存技術、歴史的建造物等
地域における文化・芸術	地域固有の伝統芸能及び民俗芸能等

第2章 計画策定の経緯・経過

1. 計画の趣旨

これまで大分市で培われてきた文化・芸術を次世代へ着実に継承するとともに、市民、地域、企業、行政等が一体となって、本市の多彩で多様な文化・芸術のさらなる振興を図り、様々なシーンにおいて文化・芸術の有する創造性を最大限に生かすことで、本市に住むことを誇りに思えるまちづくりをめざすことを目的に、その指針となる計画を策定しています。

これまでの経過

- 2014（平成26）年6月 策定

大分市文化・芸術振興計画
「2020 わくわく大分 文化・芸術ゆめプラン」
基本理念：「人とまち 文化・芸術で輝く 大分市」
計画期間：2014（平成26）年度～2020（令和2）年度



- 2021（令和3）年3月 策定

第2次大分市文化・芸術振興計画
「おおいた文化・芸術推進プラン2024」
基本理念：「こころ輝く 大分市 -文化・芸術でつくる人とまち-」
計画期間：2021（令和3）年度～2024（令和6）年度



計画策定の背景 2017（平成29）年6月 文化芸術基本法 改正

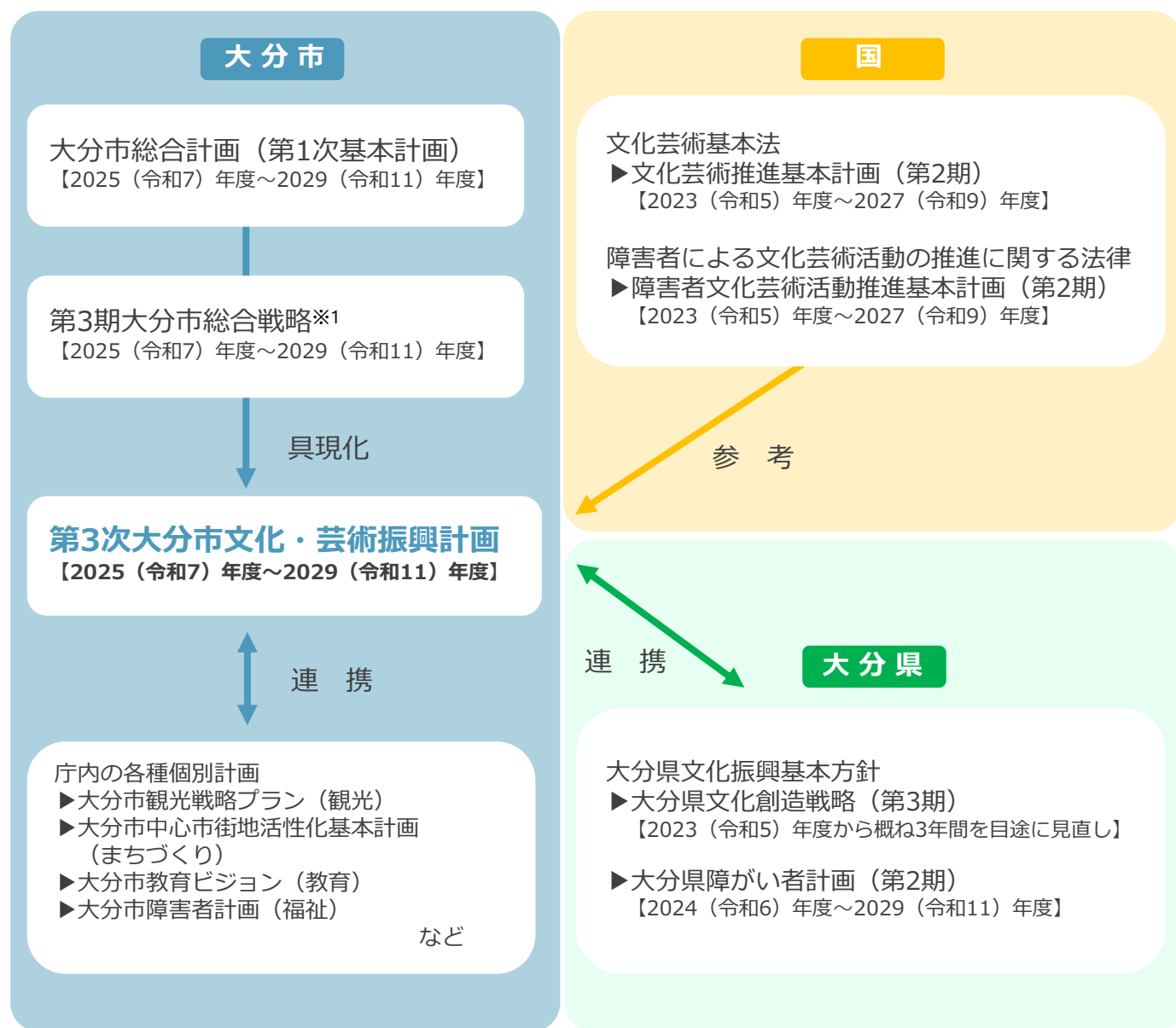
国の文化芸術推進計画を参酌して、地方の実情に即した文化芸術の推進に関する計画を定めるよう努めることが明記されました。

（そのほか改正の趣旨）

- 文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要である
- 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮すること
- 高齢者及び障がい者の文化芸術活動への支援、食文化の振興等が新たに明記

2. 計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である大分市総合計画における「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」を具現化するための個別計画であり、各関連分野における個別計画との連携を図るとともに、文化芸術基本法第4条に基づく本市における文化・芸術に関する施策の基本とします。



※1…大分市総合戦略（市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略）

まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条において、「市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画」として市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略）の策定に係る努力義務が規定されている。

3. 計画の期間

本計画は、2025（令和7）年度から2029（令和11）年度までの5年間とします。

第3章 文化・芸術における近年の動向

1. 国の動向・社会情勢の変化

- 2020（令和2）年～ 新型コロナの感染拡大
▶文化芸術イベントの中止・延期・規模縮小、デジタル化の急速な進展
- 2020（令和2）年5月
文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光※¹の推進に関する法律 施行
▶文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光に関する基本方針等を制定
- 2021（令和3）年6月 文化財保護法 一部改正
▶無形文化財及び無形の民俗文化財等の登録制度の創設
- 2021（令和3）年12月
文化財の匠プロジェクト 策定
▶文化財の持続可能な保存・継承体制の構築
- 2022（令和4）年4月 博物館法 一部改正
▶博物館資料に係る電子的記録の作成・公開（デジタル・アーカイブ化※²）

※1…文化観光

有形又は無形の文化的所産その他の文化に関する資源（以下「文化資源」という。）の観覧、文化資源に関する体験活動その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光をいう。

- 2023（令和5）年3月
文化芸術推進基本計画（第2期）
-価値創造と社会・経済の活性化- 閣議決定
▶文化芸術政策の目指すべき姿や重点取組など文化芸術政策の基本的な方向性を明示

【国】文化芸術推進基本計画（第2期）の重点取組

- （取組1）
ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進
- （取組2）
文化資源の保存と活用の一層の促進
- （取組3）
文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成
- （取組4）
多様性を尊重した文化芸術の振興
- （取組5）
文化芸術のグローバル展開の加速
- （取組6）
文化芸術を通じた地方創生の推進
- （取組7）
デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進

※2…デジタル・アーカイブ化

有形無形の歴史・文化資源をデジタルの形で、記録・保存・蓄積し、人々が活用できるように提供すること。

2. 前回（第2次）計画【2021（令和3）年3月策定】の評価指標の振り返り

指標名	目標値	実績値
重点プロジェクト おおいた夢色音楽プロジェクトの推進 おおいた夢色音楽プロジェクト総来場者数	57,000人 (2021～2024年度平均値)	55,200人 (2021～2023年度平均値)
重点プロジェクト アーティストバンクの設立・活用 アーティストバンク登録件数（団体等）	126件 (2024年度見込)	235件 (2023年度)
重点プロジェクト 文化・芸術×関連事業の創出 文化・芸術と関連分野との連携事業数	12件 (2024年度見込)	13件 (2023年度)
大分市が「文化・芸術が盛んなまち」と 思う・ある程度思うと回答した割合	45.0% (2024年度見込)	33.9% (2023年度)
文化ホールの利用者数 (コンパルホール、ホルトホール大分の 市民ホール、平和市民公園能楽堂)	417,000人 (2024年度見込)	310,238人 (2023年度)
大分市美術館の利用者数	500,000人 (2020～2024年度平均値)	220,867人 (2020～2023年度平均値)
アートプラザの利用者数	180,000人 (2020～2024年度平均値)	88,567人 (2020～2023年度平均値)
歴史資料館の利用者数	47,500人 (2024年度見込)	32,218人 (2023年度)
大友氏館跡（庭園・交流館）への来場者数	24,000人 (2024年度見込)	45,887人 (2023年度)

コロナ禍による文化・芸術イベントの中止・延期・規模縮小等の影響を受け、文化施設の利用者数などの指標は目標値を下回る結果となりましたが、アーティストバンクの設立・活用など第3次計画につながるような重点プロジェクトの推進を行いました。

3. 大分市文化・芸術に関するアンケート調査【2023（令和5）年度実施】

本計画の策定における基礎資料として、文化・芸術に対する関心度やニーズ等についてのアンケート調査を市民、文化・芸術団体、学生に2023（令和5）年11月～2024（令和6）年1月に実施し、本市の文化・芸術の現状や課題を調査しました。

	市 民	文化・芸術団体	学 生
対 象	18歳以上の市民3,000人	①本市を拠点に活動する 122団体※3 ②文化施設の利用団体※4 75団体 ③地区公民館の利用団体 48団体	①学生（一般） 410人 ②学生（専門） 450人 ③留学生 154人
調査方法	郵送調査	郵便調査および窓口配布	持込配布等
有効回答	788件（26.4%）	91件（37.1%）	546件（52.9%）

※3…NPO法人大分県芸術文化振興会議会員（令和5年11月時点）の内、本市を主な活動拠点とする団体

※4…ホルトホール大分、コンパルホール、平和市民公園能楽堂、アートプラザの利用団体

主な課題

市 民

- 本市の文化・芸術施策を重要度・満足度を分類した相関表（右下図）

（満足度は低い、重要度の高い早期改善項目）

「次世代を担う子どもたちの育成」、「文化・芸術を支える基盤づくり」、「文化・芸術環境の充実」
⇒「次世代を担う子どもたちの育成」が突出しており、子どもたちが多彩な文化・芸術に触れる施策の必要性が高まっています。

- 文化・芸術の鑑賞も文化・芸術活動もしていない理由

（割合の高い回答）「時間的な余裕がない」、「文化・芸術に関心がない」

⇒文化・芸術を身近に感じられるような情報発信や、ワークショップなどの創作体験の提供を通して、文化・芸術に親しみを持ってもらう必要があります。

- 文化・芸術がもっと盛んになるために行うべきこと

（割合の高い回答）「身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの充実」

「観光や産業などさまざまな分野と連携したまちづくり」

⇒観光、産業などの関連分野に文化・芸術をいかして、市民の身近なところで多彩な文化・芸術を感じられるような施策が必要とされています。

文化・芸術団体

- 構成メンバーの年齢構成

（割合の高い回答）「70歳以上」、
「60歳代」

- 活動を行うにあたっての課題

（割合の高い回答）「新たなメンバーの確保」
「メンバーの高齢化」

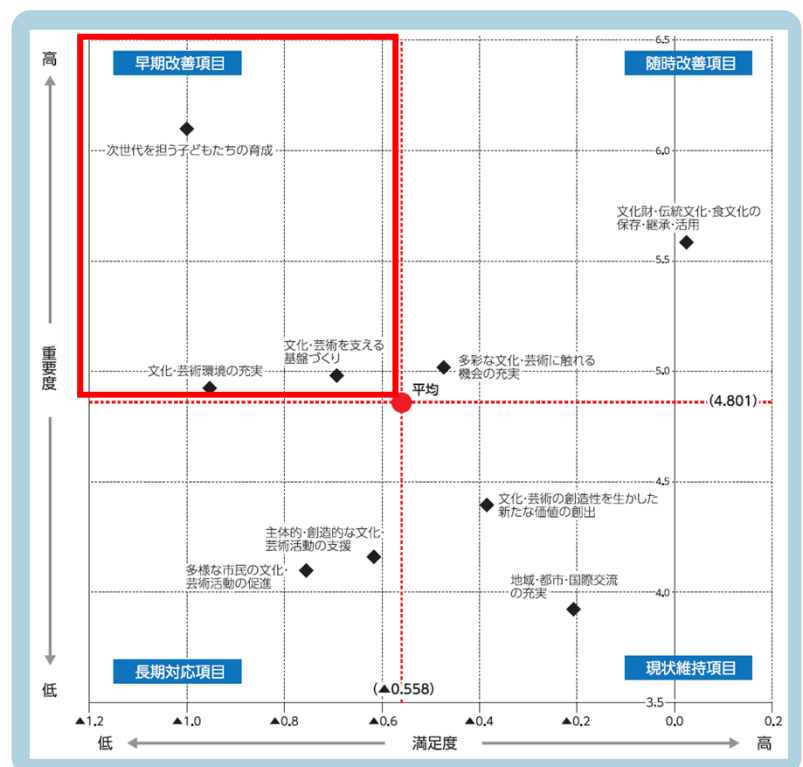
⇒年々団体の構成員の年齢が上がっており、新たな文化・芸術を担う人材が必要とされています。

学 生

- 文化・芸術を専門的に学ぶ学生が希望する進路

（割合の高い回答）「大分市外で就職」

⇒次世代の文化・芸術を担う人材が市外に流出しているのが現状であり、そういった人材に活躍の場を提供するような施策が必要とされています。



第2次計画の各基本施策における重要度と満足度の相関表
（大分市文化・芸術に関する市民アンケート調査より）

4. 調査結果に基づく現状分析

外部有識者等で構成される第3次大分市文化・芸術振興計画策定委員会および市内の文化・芸術関係課から構成される大分市文化・芸術庁内まちづくり検討会議を開催し、アンケート調査結果をもとに、文化・芸術における大分市の現状や、課題についての現状分析を行い、第3次計画策定に向けた課題を整理しました。

第3次計画の重点課題

重点課題 01

市民に文化・芸術に関心を持ってもらうこと

文化・芸術に関する情報発信を通じて、誰もが気軽に文化・芸術に親しみ、参加できる環境を提供し、市民に文化・芸術に関心を持ってもらい、文化・芸術を担う人材育成につながるような施策の展開が必要です。

※事業の写真が入ります

重点課題 02

こどもたちが文化・芸術に触れる機会のさらなる充実

こどもたちが多彩な文化・芸術に触れる機会を提供することで、豊かな創造性や人間性をはぐくむとともに、次世代の文化・芸術の担い手の育成につなげます。

※事業の写真が入ります

重点課題 03

文化・芸術における次世代を担う人材の育成・活用

市内で文化・芸術活動を行うアーティストの掘り起こしを行い、育成・活用することで、スポットライトを当て、市内での文化・芸術活動の機会を創出します。

※事業の写真が入ります

重点課題 04

アートマネジメント人材※⁵の育成・活用

文化・芸術の作り手と受け手をつなぐ役割を持つアートマネジメント人材の育成・活用を行うことで、その活躍の場を増やし、文化・芸術に関わる人材の裾野を広げます。

※事業の写真が入ります

重点課題 05

文化観光の推進など文化・芸術の関連分野への活用

本市の豊かな文化・芸術資源を観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他関連分野にいかすことで、まちの活性化や魅力向上につなげます。

※事業の写真が入ります

※ 5…アートマネジメント人材
文化・芸術を活用した取組を推進できる人材。

第4章 計画の体系について

1. 基本理念

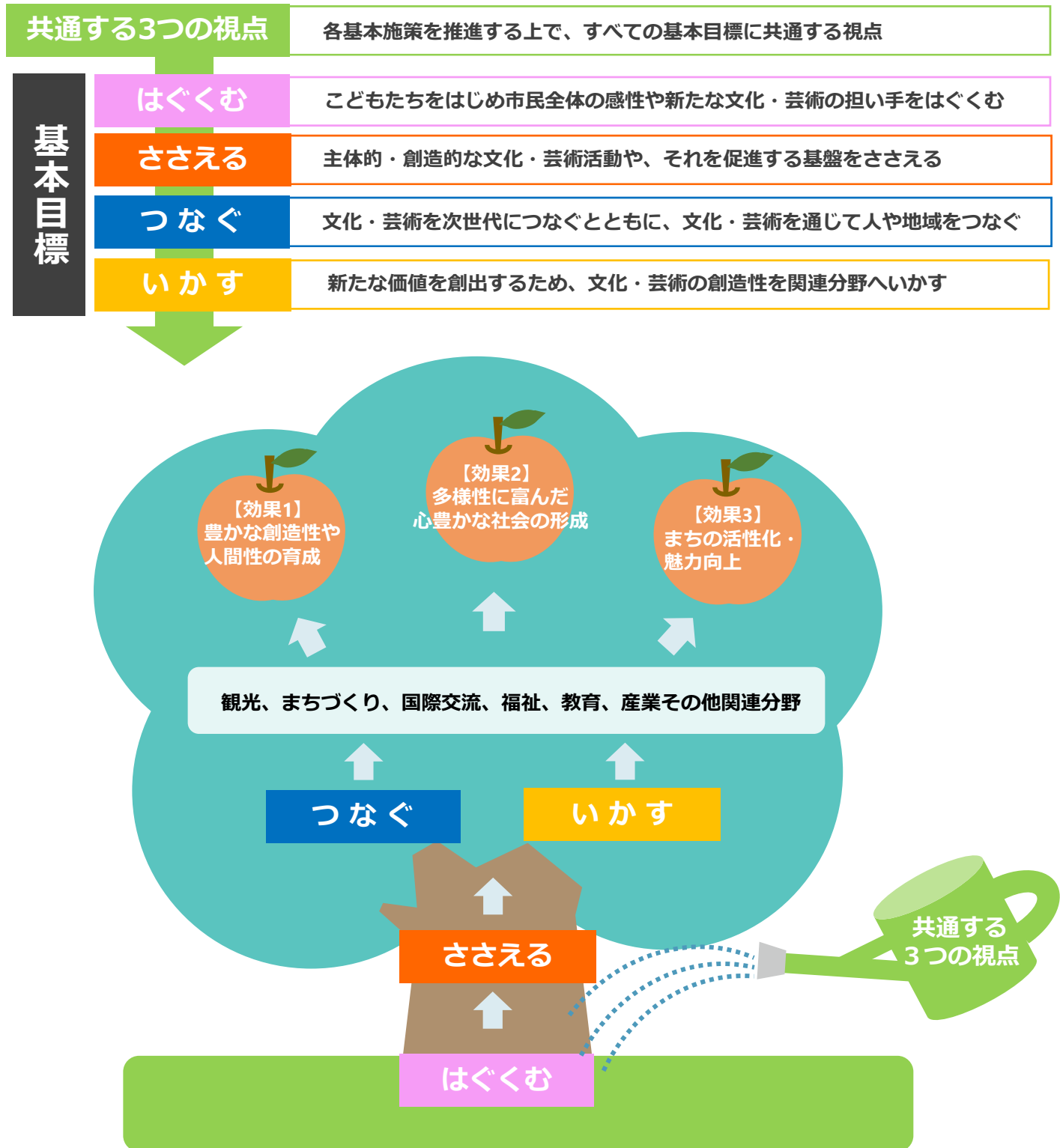
豊かになろう ところ・ひと・まち ～文化・芸術がいきるまち OITA～

市民、地域、企業、行政等が一体となって「文化・芸術で豊かにつながる」という共通の課題をともに考え、“ところ”と“ところ”、“ひと”と“ひと”がつながることで、文化・芸術が“まち”で生まれ、豊かに育つ文化・芸術がいきるまち OITAの実現を目指します。



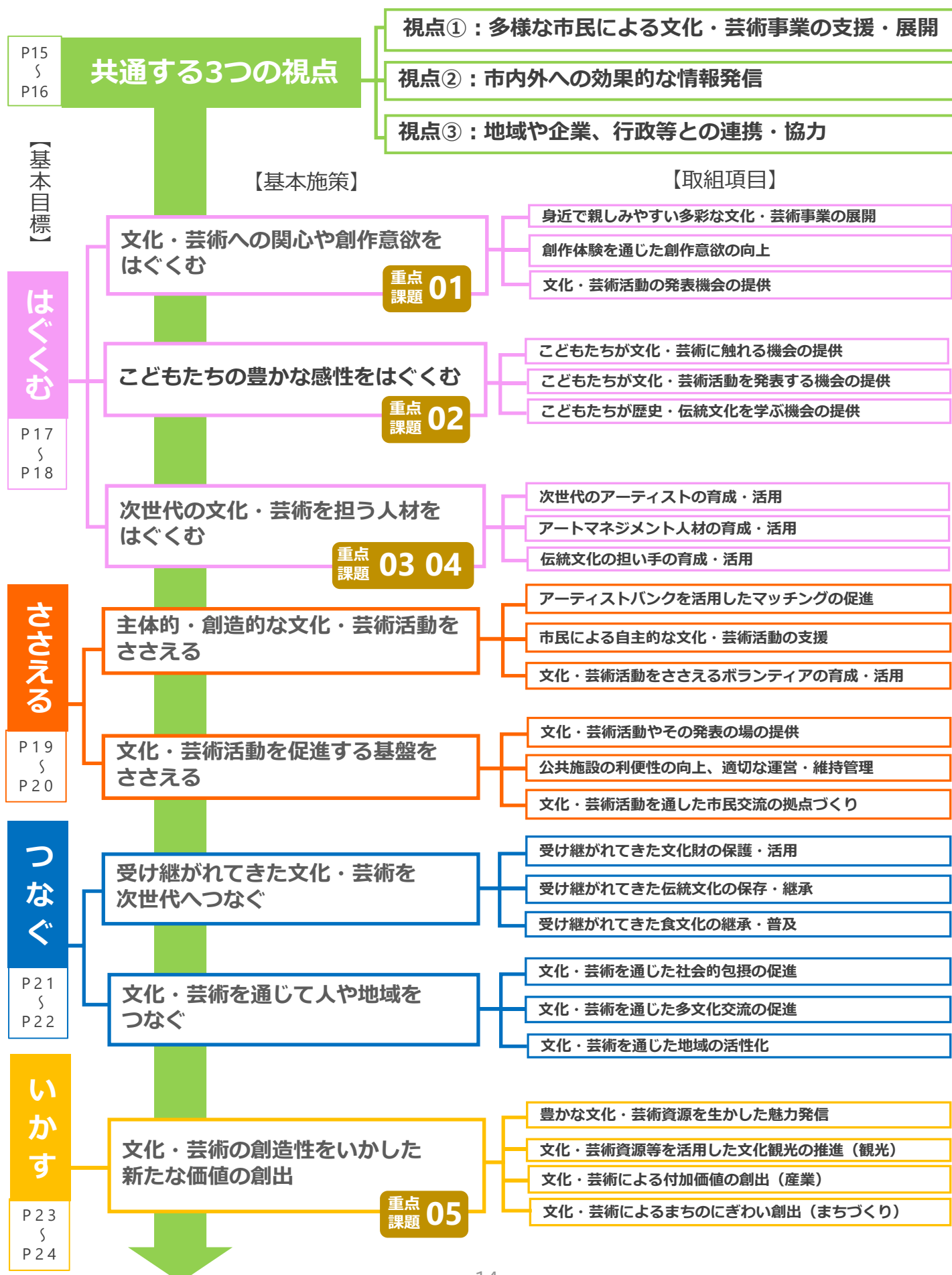
2. 共通する3つの視点および基本目標

基本理念の実現に向けて、**共通する3つの視点**を重要視するとともに、**はぐくむ、ささえる、つなぐ、いかす**の4つの基本目標を掲げ、文化・芸術に関する施策を推進します。



4つの基本目標に基づいた施策を推進することで、文化・芸術が大分市に効果をもたらすイメージ図

3. 本計画の体系図（基本目標に基づく基本施策・取組項目）



共通する3つの視点

各基本施策を推進する上で、
すべての基本目標に共通する
視点

※事業の写真が入ります

● 現状と課題

多様性を尊重した文化・芸術の振興

多様性を尊重した文化・芸術の振興が、心豊かな社会を形成する上で重要な視点であり、性別、年齢、障がいの有無や国籍等に関わらず、誰もが文化・芸術活動に参加し、その価値を享受できる環境づくりを進めています。



より多くの人へ文化・芸術に関する情報の発信

テレビやラジオ、新聞のほか、インターネット、SNS※など多様化する広報手段の中から、ターゲットに効果的に情報を届けるため、事業の目的に応じた柔軟な広報方法の選択が重要となっています。



地域、企業、行政等と連携した文化・芸術施策の展開

本市の多彩な文化・芸術のさらなる振興を図るためには、市民のほか、地域団体、民間企業、県内外他自治体等の協力が不可欠であり、さまざまな団体と連携した文化・芸術施策を進めています。



※…SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

会員制のウェブサイト上で職業・趣味・写真・文書等を公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービス。

視点① 多様な市民による文化・芸術事業の支援・展開

取組例

- ▶ 高齢者の生きがいづくりにつながる文化・芸術活動の支援
- ▶ 共生社会の実現につながる障がい者の文化・芸術活動等の支援
- ▶ 国際化・多文化共生イベントでの文化・芸術活動の発表の場の提供 等

※事業の写真が入ります

視点② 市内外への効果的な情報発信

取組例

- ▶ 市報や市ホームページ、SNS、チラシ等の各種広報媒体の活用・多言語化
- ▶ 公共施設等を活用した文化・芸術イベントの情報発信
- ▶ 創造都市※に向けての取組を推進する都市間の連携・交流プラットフォーム等を活用した文化・芸術事業の発信 等

※事業の写真が入ります

視点③ 地域や企業、行政との連携・協力

取組例

- ▶ 県や文化・芸術をサポートする団体と連携・協力を図った文化・芸術事業の企画、検討
- ▶ 市内の企業や教育機関等との連携・協力
- ▶ 大分都市広域圏等のさまざまなつながりを生かした連携・協力
- ▶ 姉妹・友好都市等との文化・芸術を通じた国際交流 等

※事業の写真が入ります

※…創造都市

文化芸術から生み出されるさまざまな価値が、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野に生かされ、将来にわたり持続的に発展を続ける都市。

これらの**共通する3つの視点**を重要視しながら、次のページ以降の各基本目標に紐づく基本施策の推進を行います。

基本目標

はぐくむ

こどもたちをはじめ
市民全体の感性や
新たな文化・芸術の担い手を
はぐくむ

※事業の写真が入ります

● 現状と課題

文化・芸術に興味・関心が持てるような文化・芸術事業の展開

文化・芸術鑑賞や活動をしない理由として、「時間的な余裕がない」、「文化・芸術に関心がない」といった意見が多く、魅力的な事業の展開を通して、多くの市民が文化・芸術に興味を持ち、文化・芸術活動への関心につながるような施策が大切です。



子どもたちの文化・芸術に触れる機会の充実が求められています

「子どものころからの文化・芸術に触れる機会は必要だと思う・ある程度思う」と回答した市民の割合が、**95%**を越えており、「学校における鑑賞・創作体験」や、「文化施設におけるこども向けの鑑賞や学習の機会」の充実を求める声が大きくなっています。



文化・芸術における次世代を担う人材の育成が求められています

大分市で活動する文化・芸術団体にとって、「新たなメンバーの確保」や「メンバーの高齢化」が大きな課題となっており、本市の多彩な文化・芸術を次世代に着実に継承するため、担い手となる人材の育成が必要となっています。



基本施策 文化・芸術への関心や、創作意欲をはぐくむ

(取組項目)

- 身近で親しみやすい多彩な文化・芸術事業の展開
- 創作体験を通じた創作意欲の向上
- 文化・芸術活動の発表機会の提供

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ 身近な場所で気軽に文化・芸術を鑑賞できるような公演や展覧会を開催
- ▶ 文化・芸術を体験できるワークショップや講座の開催
- ▶ アマチュア活動の発表の場づくり

基本施策 こどもたちの豊かな感性をはぐくむ

(取組項目)

- こどもたちが文化・芸術に触れる機会の提供
- こどもたちが文化・芸術活動を発表する機会の提供
- こどもたちが歴史・伝統文化を学ぶ機会の提供

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ 子どもたちを対象とした公演やワークショップ、アウトリーチ活動※の実施
- ▶ 子どもたちが文化・芸術活動の成果を発表できる展覧会や公演等の開催
- ▶ 大友宗麟公に関する副読本の配布、大友氏遺跡やその時代の功績などの歴史的文化遺産に関する歴史検定の実施

※…アウトリーチ活動

アーティストやアートマネジメント人材等が小中学校等のさまざまな場所に出向いて、対外的な体験活動の機会を提供する取組み

基本施策 次世代の文化・芸術を担う人材をはぐくむ

(取組項目)

- 次世代のアーティストの育成・活用
- アートマネジメント人材の育成・活用
- 伝統文化の担い手の育成・活用

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ 本市にゆかりのあるアーティストや、学生などを含む若手アーティストの起用
- ▶ アートマネジメント人材を起用した文化・芸術関連事業の企画・運営
- ▶ 伝統文化の担い手を起用したさまざまな世代へ向けての文化体験の機会提供

基本目標

ささえる

主体的・創造的な文化・芸術
活動や、それを促進する
基盤をささえる

※事業の写真が入ります

●現状と課題

文化・芸術活動を**ささえる仕組みづくり**が求められています

大分市で活動する文化・芸術団体の活発化のために、「**資金援助による活動支援**」や「**文化・芸術活動に関する情報の提供・発信**」が求められており、本市の主体的・創造的な文化・芸術活動を支援するための仕組みづくりが必要とされています。



文化・芸術活動を**ささえる基盤づくり**が求められています

大分市で活動する文化・芸術団体の活発化のために、「**文化施設の整備・充実**」や、「**文化・芸術活動の発表の機会**」が求められており、文化施設の施設機能の整備・充実を図るとともに、自主的な文化・芸術活動を促進させることが重要です。



基本施策 主体的・創造的な文化・芸術活動をささえる

(取組項目)

- アーティストバンクを活用したマッチングの促進
- 市民による自主的な文化・芸術活動の支援
- 文化・芸術活動をささえるボランティアの育成・活用

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ 大分市が運営する専用ウェブサイト「^{ポート}POART※1」を通じたマッチングの事例の蓄積、普及促進イベントの実施
- ▶ 公演や展覧会等のイベント開催費用等の支援、名義後援および市長表彰制度
- ▶ 文化・芸術イベントの運営補助等に携わる市民ボランティアの育成・活用

基本施策 文化・芸術活動を促進する基盤をささえる

(取組項目)

- 文化・芸術活動やその発表の場の提供
- 公共施設の利便性の向上、適切な運営・維持管理
- 文化・芸術活動を通じた市民交流の拠点づくり

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ 公共施設の貸出による文化・芸術活動の場の提供、公演や展覧会等の開催を通じた発表機会の提供
- ▶ 公共施設案内・予約システムの利便性の向上、指定管理者制度※2の導入施設におけるモニタリングの実施、計画的な修繕や改修等の実施
- ▶ 公共施設の特性を生かした文化・芸術の交流の場の提供

※1…大分市アーティストバンク専用ウェブサイト「^{ポート}POART」とは

文化・芸術活動を行う個人や団体(アーティスト)とその発表の場(スポット)の
情報を集積するアーティストバンク専用ウェブサイト

双方のマッチングの促進
情報発信

主体的な文化・芸術活動の支援や、
多彩な文化・芸術に触れる機会の創出

PORT
OITA CITY ARTIST BANK

「POAT/港」と「ART/芸術」を組み合わせた造語。
アーティストとスポットが身を寄せる港のような拠点を
目指すとともに、双方が出会い、その先に広がる
未来を照らす灯台のような存在でありたいと願いを
込めてネーミングしました。

※事業の写真が入ります

※2…指定管理者制度

地方公共団体が管理する公の施設について、地方公共団体が指定する民間事業者を含めた団体などにその管理を行わせて、市民サービスの向上と経費の削減などを図る制度

基本目標

つなぐ

文化・芸術を次世代につなぐ
とともに、文化・芸術を
通じて人や地域をつなぐ

※事業の写真が入ります

●現状と課題

歴史的な価値のあるものを**次世代に残していくことが大切です**

文化財や歴史的な価値のあるものを保存して、活用していく取組は「非常に大切だ・ある程度大切だ」と回答した市民の割合が、**90%**を越えており、文化財や伝統文化等に触れる機会の充実等を通して、次世代へ着実に継承することが重要となっております。



文化・芸術を通じて**ひとや地域の結びつき**をひろげていきます

文化・芸術には、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供してくれる役割を持っており、社会包摂や多文化交流を促進させるほか、地域の特色ある文化・芸術の振興を通して、郷土を愛する心や地域の一体感を醸成します。



基本施策 受け継がれてきた文化・芸術を次世代へつなぐ

(取組項目)

- 受け継がれてきた文化財の保護・活用
- 受け継がれてきた伝統文化の保存・継承
- 受け継がれてきた食文化の継承・普及

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶文化財の計画的な保護、大分市歴史資料館等の情報提供機能の充実や発掘調査現場の公開
- ▶地域における世代間交流の推進と地域の活性化を目的とした祭りや地域の行事等に対する補助
- ▶料理講習会や各種PR事業を通じた次世代への継承、地元の農林水産物を使用した料理や豊後料理の普及

基本施策 文化・芸術を通じて人や地域をつなぐ

(取組項目)

- 文化・芸術を通じた社会的包摂の促進
- 文化・芸術を通じた多文化交流の促進
- 文化・芸術を通じた地域の活性化

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ノーマライゼーション※等の社会包摂の推進を目的とした文化・芸術を通じたイベント等の開催
- ▶国際化・多文化共生の推進を目的とした文化・芸術を通じたイベント等の開催
- ▶地域の特色ある文化・芸術活動の支援、地域の振興や活性化を目的とした文化・芸術イベント等の開催

※…ノーマライゼーション

高齢者も若者も、障がいのある人もない人も、すべて人間として普通の生活を送るため、ともに暮らし、ともに生きていける社会こそ「ノーマル」であるという考え方

基本目標

いかす

新たな価値を創出する
ため、文化・芸術の創造性を
関連分野へいかす

※事業の写真が入ります

●現状と課題

多彩な文化・芸術を生かしたまちづくりが求められています

文化・芸術がもっと盛んになるためには、「音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの充実」や「観光や産業などさまざまな分野と連携したまちづくり」を行うべきであるという市民からの意見が多くありました。

文化・芸術という枠組みを越えて、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他関連分野といった生活の中の身近な分野に文化・芸術を活用することで、市民がより身近に文化・芸術を感じられるとともに、文化・芸術がまちで生まれ、豊かに育つ文化・芸術がいきるまち OITAの実現を目指します。



基本施策 文化・芸術の創造性をいかした新たな価値の創出

(取組項目)

- 豊かな文化・芸術資源を生かした魅力発信
- 文化・芸術資源等を活用した文化観光の推進(観光)
- 文化・芸術による付加価値の創出(産業)
- 文化・芸術によるまちのにぎわい創出(まちづくり)

※事業の写真が入ります

取組例

- ▶ フィルムコミッション※等を通じた本市の豊かな文化・芸術資源を生かした魅力発信
- ▶ 本市が誇る建築物や彫刻等の文化・芸術資源をいかした文化観光の推進
- ▶ デザインの力で産業に付加価値を与え、魅力向上を支援するクリエイティブ産業の育成
- ▶ 「アートを活かしたまちづくり事業」等による魅力的な文化・芸術イベントの実施などを通じたまちのにぎわい創出

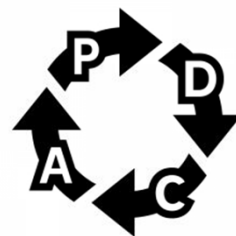
※…フィルムコミッション

地域において映像コンテンツ（映画・テレビドラマ・CMアニメ等）のロケーション撮影が円滑に行われるための支援を行い、そのコンテンツを活かして地域活性を行う非営利公的機関のことです。本市においては、「大分市ロケーションオフィス」を組織しています。

第5章 計画の推進について

1. 推進体制

本計画の着実な推進を図るため、外部の有識者等で構成される「大分市文化・芸術振興計画推進委員会」および市内の文化・芸術関係課から構成される「大分市文化・芸術庁内まちづくり検討会議」を設置します。



- 各基本施策における取組項目の実施状況の把握
- PDCAサイクル※に基づく評価、意見交換等の実施
- 様々な社会情勢の変化等を踏まえた基本施策や重点プロジェクト等の見直し検討

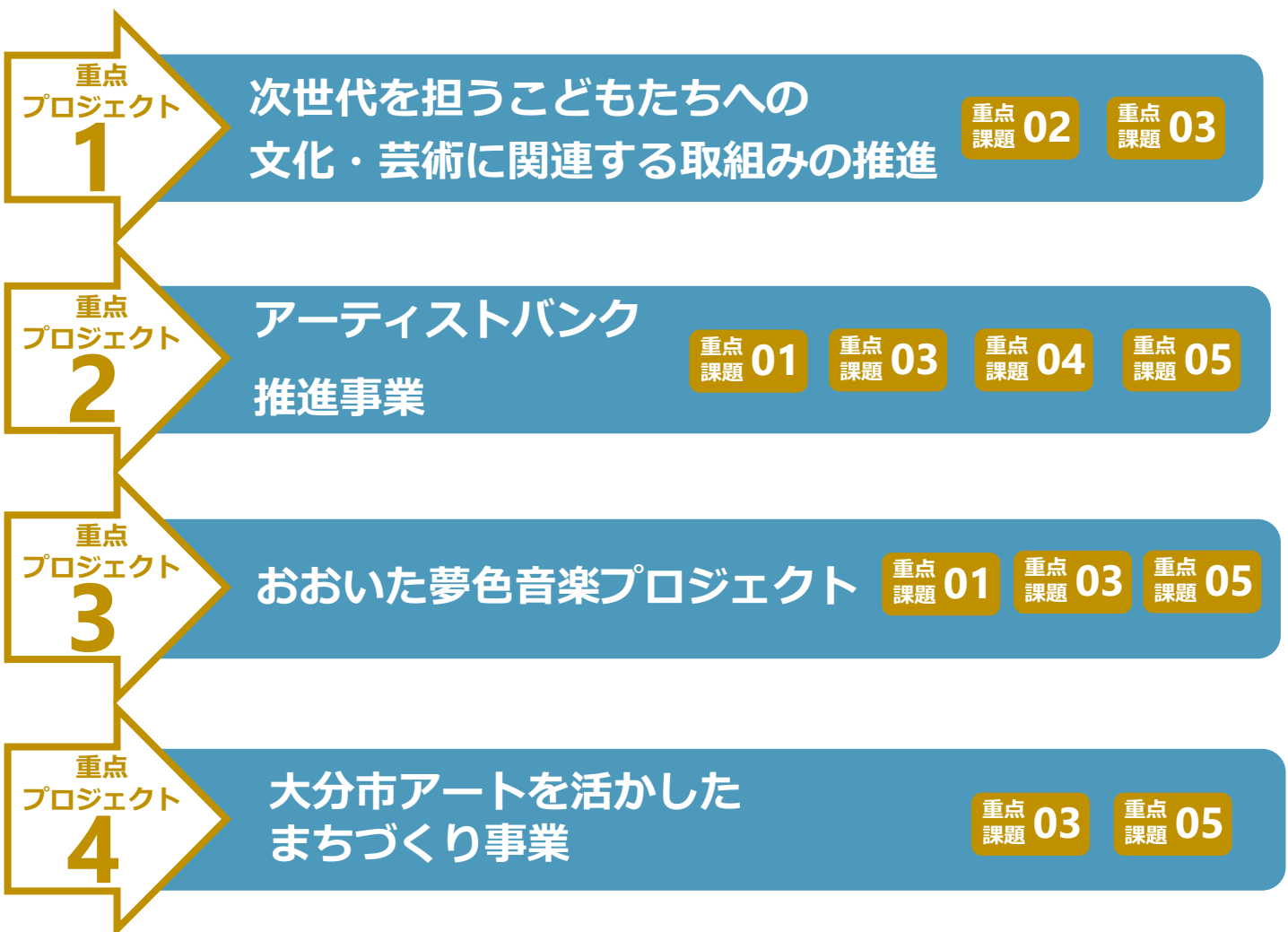
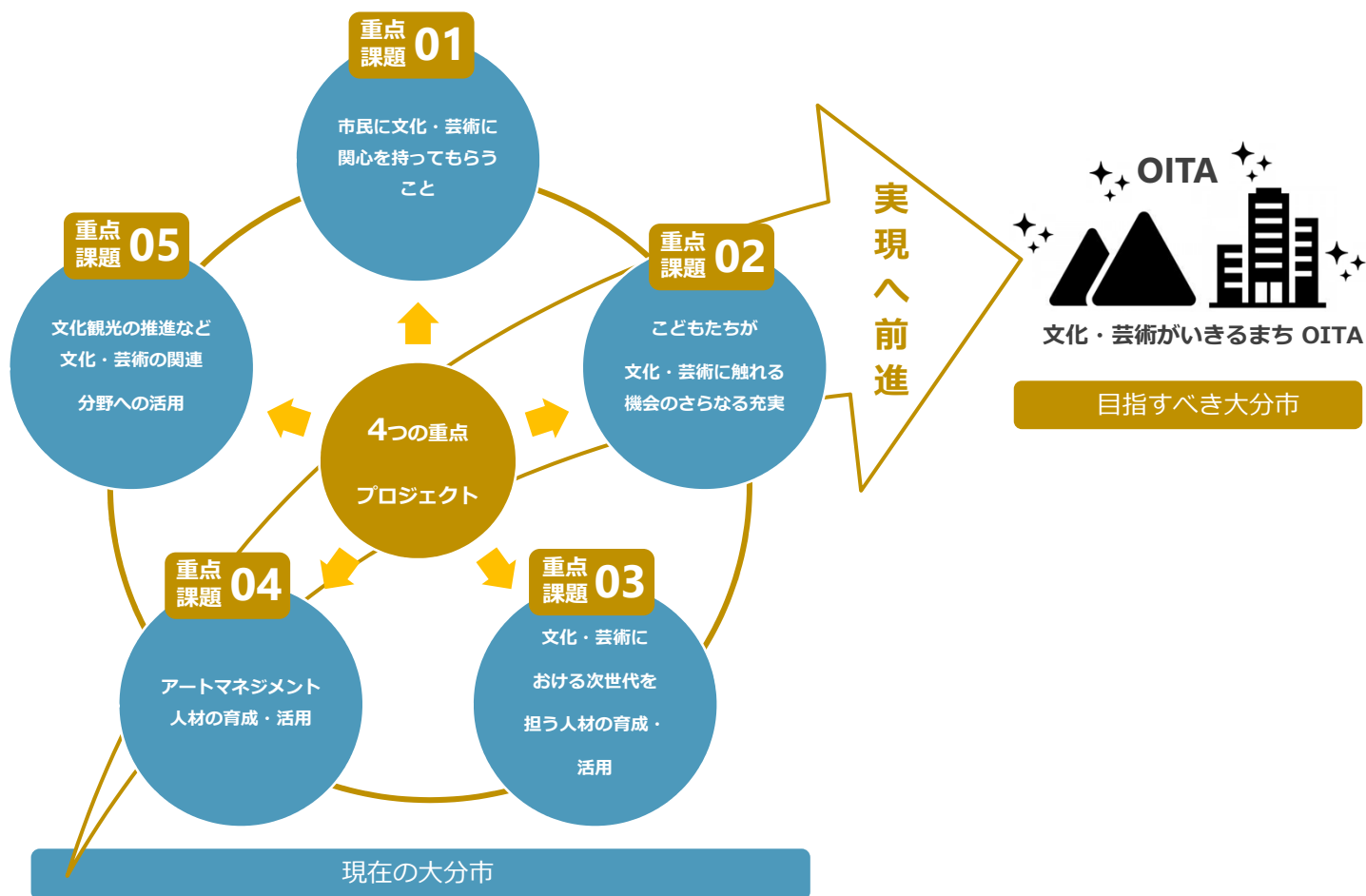
※…PDCAサイクル

業務プロセスの管理手法の一つで、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善していく手法。

2. 重点プロジェクトについて

文化・芸術がいきるまち OITAの実現に向けて、本計画の**重点課題**の解決に大きく寄与する基本施策・取組項目に関連した事業を「**重点プロジェクト**」として定め、その取組みの推進に注力します。

- 重点課題 01** 市民に文化・芸術に関心を持ってもらうこと
- 重点課題 02** こどもたちが文化・芸術に触れる機会のさらなる充実
- 重点課題 03** 文化・芸術における次世代を担う人材の育成・活用
- 重点課題 04** アートマネジメント人材の育成・活用
- 重点課題 05** 文化観光の推進など文化・芸術の関連分野への活用



3. 重点プロジェクト・評価指標一覧

重点プロジェクトの推進に関わる指標を評価指標とし、本計画の進捗を図ります。

重点
プロジェクト

1

次世代を担うこどもたちへの 文化・芸術に関連する取組みの推進

重点
課題 02

重点
課題 03

はぐくむ

つなぐ

文化・芸術に関連する施策において、「次世代を担うこどもたちへの育成」が重要度が最も高く、満足度が最も低い施策として挙げられており、早期の改善が必要とされています。

本取組みを推進することで、こどもたちが文化・芸術に触れる機会の充実を図るとともに、着実な文化・芸術の次世代への継承につなげます。

※事業の写真が入ります

評価指標名	現状値 【2023（令和5）年度】	目標値 【2029（令和11）年度】
未就学児～高校生年代のこどもたちへの文化・芸術に関連する取組件数	301件	330件

重点
プロジェクト

2

アーティストバンク 推進事業

重点
課題 01

重点
課題 03

重点
課題 04

重点
課題 05

はぐくむ

ささえる

つなぐ

いかす

市民が多彩な文化・芸術に触れる機会の充実を図るため、文化・芸術活動を行う団体や個人（アーティスト）と、その発表の場（スポット）の情報をデータベース化し、双方のマッチングを促進する「アーティストバンク推進事業」に取り組みます。

専用ウェブサイト「POART^{ポート}」を活用することで、主体的な文化・芸術活動の支援やアートマネジメント人材の育成などにも繋げていきます。

※事業の写真が入ります

評価指標名	現状値 【2023（令和5）年度】	目標値 【2029（令和11）年度】
アーティストバンク専用ウェブサイト「POART/ポート」を通じたマッチング件数	11件	250件 【2023（令和5）～2029（令和11）年度累計値】

重点
プロジェクト
3

おおいた夢色音楽プロジェクト

重点
課題 01

重点
課題 03

重点
課題 05

はぐくむ

いかす

本市が日本における「西洋音楽発祥の地」であることにちなみ、年間を通して音楽があふれ、道行く人が心和むような「音楽のまち大分」を実現するため、2008（平成20）年度から「おおいた夢色音楽プロジェクト」を推進しています。

本取組みを推進することで、市民が身近で気軽に文化・芸術に親しむ機会を創出するとともに、文化・芸術に対する興味・関心につなげます。

また、発表の場の提供などを通じて、次世代を担うアーティストの育成・活用に努めます。

※事業の写真が入ります

評価指標名	現状値 【2023（令和5）年度】	目標値 【2029（令和11）年度】
おおいた夢色音楽プロジェクト 総来場者数	78,373人	82,000人 【2025（令和7）年～2029（令和11）年度平均値】

重点
プロジェクト
4

大分市アートを活かしたまちづくり事業

重点
課題 03

重点
課題 05

はぐくむ

いかす

本市では、平成25年度から「大分市アートを活かしたまちづくり事業」に取り組んでいます。アートフェスティバル※の開催や中心市街地でのパブリックアートの制作などを実施することで、文化・芸術の持つ創造性を地域活性化と産業振興に活かし、アートの力を活用して地域の魅力づくりや市民の地域を誇る気持ちの醸成、創造的な人材の育成や地域経済の活性化を図ります。

※…大分アートフェスティバル

「大分市アートを活かしたまちづくり事業」の一環で行われる取組のひとつであり、3年に一度のトリエンナーレとして開催され、大分市中心市街地のビル等の壁面や空き店舗のシャッターへの作品展示のほか、会場での作品展示、ワークショップの開催などの取り組みを行っている。

※事業の写真が入ります

評価指標名	現状値 【2024（令和6）年度】	目標値 【2029（令和11）年度】
パブリックアート作品数	18件	25件

第3次大分市文化・芸術振興計画(案)

発行:大分市

編集:大分市企画部文化振興課